

## 裏山

学校の裏山は、昔ながらの自然が残る貴重な場所で、子どもたちの学びの場でもあります。しかし年月を経るにつれて枯れた木や枝が目立つようになり、倒れたり落ちたりする心配が出ていました。そこで業者の方に入ってもらい、樹木剪定を行いました。だいぶうっそうとしていたイメージがありましたが、剪定してもらってとてもさっぱりしました。

ところが夏が近づいてきたころから、スズメバチの姿が見られるようになりました。実際に職員が見かけたり、「学校の裏山からスズメバチが飛んできた」という近隣からの情報も入ったりしました。職員が念入りに調べたり、樹木剪定のときに業者の方に調べていただいたりしたのですが、巣は見られませんでした。このため、ハタラキバチが巣から出かけた戻ったりするときの、通り道になっているのではないかと考えていました。夏の間は、安全のため裏山への立ち入りを見合わせていました。

秋が深まって涼しくなり、スズメバチの姿が見られなくなってきました。そこで11月に入って、立ち入りを再開しました。

大勢で入ると密になってしまうので、感染予防のため一度に入れるのは一クラスまで、と限定しています。紅葉したり落葉したりした木々に常緑の木が混じり、木陰をつくって色彩と陰影が豊かなうえ、無数のドングリが落ちていて秋探しにもってこいの場所になっています。

今週、4組や1年生の子どもたちが入って、にぎやかに活動していました。たくさんドングリを拾うこともできたようです。

